

## 第29回 全国クラブチームサッカー選手権愛知県大会 大会要項

- 開 催 日 2022年 5月1日(日)～ 決勝戦:2022年7月3日(日)  
※予備日は設定しない。会場の確保状況によりナイトゲームも行う。  
※場合によっては無観客試合で実施します。
- 大会会場 愛知県下各グラウンド
- 大会組合せ 2022年 4月9日(土) 指定した会場に於いて、出場チームの監督(代理でも可)が抽選を行う。
- 参加資格 (1) チーム  
①大会開催年度に愛知県サッカー協会に加盟している1種社会人チームで愛知県下、各地区社会人サッカーリーグより選出された12チーム。  
②9月初旬に開催される東海大会ならびに、10月下旬に開催される全国大会ともに出場が可能なチーム。(東海大会 三重県開催予定/全国大会 三重県開催予定)  
③Jリーグ・JFL・地域リーグ・愛知県社会人リーグ加盟チームならびに自衛隊・自治体職員・大学・高等専門学校の各連盟に所属するチームは参加を認められない。また、大学・高等専門学校・専門学校の単独チームも参加を認められない。(但し同一学校の選手が5名以内であれば認められる)
- (2) 選手  
①大会1回戦開催日(2022年 5月1日) までに(公財)日本サッカー協会が登録を承認した選手とする。  
②本部に提出するエントリー表に必要事項(背番号・氏名・選手登録番号)を記載し選手証(登録選手一覧)に写真が登録されていること。  
③選手エントリー数は制限しない。大会初戦にてエントリー表承認後の変更と追加は認めない。(東海大会は規定により選手エントリー数が最大22名までとなるので留意されたい)  
④大会期間中に異なるチームに移籍した選手が発生した場合、直後の試合にてエントリー表を提出する際に本部役員に申告し取り消し処理を依頼すること。その際選手登録一覧も最新のものに更新すること。  
⑤選手資格に疑義がある場合は所属地区委員会社会人の意見を求める。疑いのある場合は1種委員会社会人がこれを裁定する。  
⑥出場チームの同一下部組織第2種(日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第2種登録選手のままの出場を認める。エントリー、出場はともに3名までとする。
- (3) 監督  
監督証に写真が登録されていること。指導者資格は問わない。
- 大会形式 出場チームによるノックアウト方式を採用し、優勝チームに東海大会の出場資格を与える。3位決定戦は行わない。
- 競技規則 大会実施年度(2021～2022年)の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に則る。
- 競技会規定1 (1) ボール  
①試合球 : モルテン社製 検定球 5号球  
②マルチボールを採用しない。また、ボールパーソンは配置しない。  
③テクニカルエリアおよびアップエリアから外れてのボール拾いは原則として不可とする。  
④試合球は(公財)愛知県サッカー協会1種委員会社会人から提供する。
- (2) 競技者および交代要員、役員  
①競技者の数 : 11名  
②交代要員の数 : 7名以内(ピブス着用)  
③交代を行うことが出来る選手 : 5名以内  
④交代を行うことが出来る回数 : 3回(ハーフタイムを除く)  
⑤チームベンチに入ることのできる役員の数 : 6名以内  
⑥外国籍選手は5名以内のエントリー、3名以内の試合出場可(但し準加盟チームは除く)
- (3) テクニカルエリア  
テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はエリア内から、その都度ただ1人の役員が伝えることができる。
- (4) 出場選手ならびに役員の提出資料  
試合開始40分前までに大会エントリー表、メンバー表4枚(複写、または先発とサブを記載し出力した用紙)、選手証(登録選手一覧も可)、監督証の4種類をセットにし本部に提出すること。各種資料は背番号順に作成すること。
- (5) 競技者の用具  
①ユニフォーム  
大会実施年度(2021～2022年)の(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正副用意すること。正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を大会エントリー表に記載すること。基本的にユニフォームは組合せの上のチーム「正」、下のチーム「副」を原則とする。  
※ 試合当日は必ず正副2着を持参すること。対戦チームと現物で着用する色彩を確認することが望ましい。  
※ アンダーシャツはシャツの袖の主たる色と同色に限る。  
※ アンダーショーツ及びタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同色に限る。  
※ ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同色に限る。  
足首カットのソックスを使用する場合は、下に履くソックスの色も同色とする。  
※ 貼り番をする場合は台地(白布等)に番号を記入し四辺に指が入らないようしっかりと縫いつけること。  
背番号の白布は縦30cm×横30cm位  
胸番号の白布は縦15cm×横15cm位  
②装身具  
一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

競技会規定2 (6) 試合時間

**1回戦から準決勝まで**

- ①試合時間 : 70分 (前・後半35分/前後半それぞれ1回ずつ飲水タイムを設ける場合もある)
- ②ハーフタイムのインターバル : 10分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
- ④PK方式に入る前のインターバル : 1分
- ⑤アディショナルタイム表示 : 実施する
- ⑥高温に伴う試合ガイドラインに則り、飲水回数の増加やクーリングブレイクの採用を適切に行う。

**決勝戦**

- ①試合時間 : 70分 (前・後半35分/前後半それぞれ1回ずつ飲水タイムを設ける場合もある)
- ②ハーフタイムのインターバル : 10分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決しない場合は、延長戦により勝敗を決定する。
- ④延長戦に入る前のインターバル : 3分
- ⑤延長戦 : 20分(前・後半10分)
- ⑥延長戦を含む試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
- ⑦PK方式に入る前のインターバル : 1分
- ⑧アディショナルタイム表示 : 実施する
- ⑨高温に伴う試合ガイドラインに則り、飲水回数の増加やクーリングブレイクの採用を適切に行う。

(7) その他

- ①負傷者の対応 : 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。(担架等使用の場合は除く)
- ②チームベンチ : ピッチ上本部からフィールドに向かって  
左側…原則として、対戦表の上に記載されているチームが使用する。  
右側…原則として、対戦表の下に記載されているチームが使用する。
- ③ハーフタイムのピッチ内立ち入りは、当該試合の両チームの選手、交代要員及び役員のみ許可する。
- ④ハーフタイムのピッチ内練習は、交代選手7名以内と役員2名以内とする。
- ⑤試合中のウォームアップはボール使用不可とする。交代要員選手用のアップエリアを設置する。
- ⑥アップエリアにいる選手または役員は、戦術的指示を行うことはできない。
- ⑦試合の成立は前半終了時点とする。試合開始前を含む中止決定時に同点の場合は抽選を行なう。  
抽選者は各チーム1名選出する。抽選は県協会1種委員会社会人が指定した場所で開催する。

懲 罰

- (1) 本大会は(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会は1種委員会社会人委員長をはじめ各地区役員で編成される。  
大会規律委員 : 藤井祥男 杉浦幹根 相羽実 藤田和也  
榑原純 榑原将之 渡邊邦夫 杉本憲昭 熊木登志夫 阿部幸哉
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会において裁定する。
- (5) 本大会および東海大会と全国大会を途中棄権した場合、以後の処置は1種委員会社会人及び所属地区委員会社会人にて裁定する。
- (6) 本大会要項に記載のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて裁定する。
- (7) 本大会において規定違反をした場合は、その試合を没収試合とし以後の処置は大会規律委員会にて裁定する。

審 判

- (1) 1回戦は、主審・副審ともに各チームの帯同審判で実施する。  
2回戦及び準決勝の主審は、県協会審判委員会より派遣とし、副審は各チームの帯同審判で実施する。  
決勝戦は、主審および副審を県協会審判委員会より派遣する。
- (2) 帯同審判は、主審は3級で副審は4級以上の資格を有する者とし、審判証には写真が登録してあること。
- (3) 帯同審判は試合開始40分前までに審判証を持ち、大会本部で承認を受けること。Web提示を可とする。
- (4) 主審ならびに副審は必ず試合開始前に本部付近で打ち合わせを行い、円滑なジャッジができるよう協力すること。
- (5) 担当する帯同審判が試合開始に間に合わず不在の場合は、審判棄権とみなし当該チームの試合を没収試合とする。
- (6) 大会を途中棄権したチームは、審判担当試合(副審含む)の審判業務を対応する。
- (7) 第4の審判員は任命せず、会場担当の運営役員が兼務する。

そ の 他

- (1) 大会会場到着後、大会本部にて会場の諸注意を確認すること。(試合前アップ場所、喫煙、トイレ等の施設利用)
- (2) 企業施設が会場の場合、グラウンド以外の構内施設などに立ち入りをしないこと。
- (3) 動画や写真の撮影と取扱いは、必ず本部ならびに対戦相手の了承を得て行うこと。
- (4) 指定場所以外での喫煙はしないこと。
- (5) 車、バイク(自転車含む)等は、指定場所(駐車及び駐輪場)に停めること。
- (6) 施設(グラウンド等)に設置されたゴミ箱にゴミを捨てず、必ず持ち帰ること。  
使用した更衣室等は、必ず掃除し、その後 県協会役員に確認してもらうこと。
- (7) 第1試合の両チームでグラウンド準備を行い、最終試合の両チームでグラウンド整備と後片付けを行う。
- (8) 給水時に飲むことが可能な飲物は試合会場により異なるため、事前に会場の本部役員に確認すること。
- (9) 新型コロナウイルス感染防止の観点から、複数の選手や関係者による同一ボトルの飲みまわしはしないこと。
- (10) 登録選手一覧及びエントリー表など提出された個人情報、大会運営以外には一切使用しない。
- (11) 大会期間中の事故(物損等含む)については、主催者側は一切責任を負わない。
- (12) 参加選手の負傷については各チームで処置を行い、主催者側は一切責任を負わない。
- (13) 各チームともスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
- (14) 暑熱対策として、テントやタープを持参することが望ましい。チームベンチへの設置を認める。  
チームベンチに設置する場合は、本部に報告し選手やチーム関係者の安全面に留意すること。

コロナ対策

- (1) 当日会場入りする選手及びチーム役員の全員を対象に健康チェックシート提出を義務付ける。  
県協会方式のチェックシートで個別に作成し、試合当日までの2週間の体温並びに健康状態を虚偽なく報告すること。
- (2) 会場敷地内に選手及びチーム関係者以外の部外者を動員しないこと。
- (3) 試合当日、選手及びチーム関係者を対象に検温と問診を行う。
- (4) 発熱や体調不良の選手及びチーム関係者は必ず自宅で静養すること。チーム代表者が把握し適切な判断を行うこと。  
大会期間中、または後日体調不良等があった場合、速やかに大会本部か各地区役員に報告すること。  
その後の処置等は大会規律委員会にて裁定する。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、サッカー協会より開催自粛のアナウンスがあった場合は、本大会を中断または中止する事も前提に開催する。中断または中止の場合、大会規律委員会による抽選方式にて勝ち上がりを決定する。